



金沢脳神経外科病院だより ふれあい

2006年
秋季号

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院 広報誌
第24号
発行所 メディア広報室
石川郡野々市町徳用町315
TEL 076-246-5600
FAX 076-246-3914
URL : <http://www.incl.ne.jp/knouge/>

病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様の権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者さまの権利

私達は患者の皆様の権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様の権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、充分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

病院長

地域医療の再構築

病院長 佐藤 秀次



医療の整備がなければ、地域住民の安心した生活は保障されません。ところが、医療改革と呼ばれる医療合理化の波を受けて、地域医療は青息吐息の状態にあるといつてよいでしょう。なぜなら、政策誘導による病院数の減少が進み、患者さんの特定の医療機関への集中化が加速されているからです。

その一方で、医師や看護師不足は深刻です。私ども脳神経外科も例外ではなく、脳神経外科を志す若い医師の減少に危機を覚えた学会は、研修医

や医学生に向けてパンフレットなどによる勧誘活動を開始しました。当然のことながら、すぐ光は見えません。しかし、医療の現場では、人手のより必要な医療が容赦なく求められて行きます。

このような状況を前にして地域医療の将来に危機感が募りますが、明るいニュースもあります。

浅井会長率いる白山のいち

医師会は地域医療機関の医療連携強化に乗り出しました。今こそ、地域の医療機関が力を合わせて、不足を補いあうための新たなシステムを作り上げることが地域住民のためにも必要であると信じます。

医師会の取り組みへ

の患者の理解をお願いいたします。



登録医療機関

紹介コーナー



森

明弘クリニック

(内科・消化器科・外科)

院長

森 明弘先生

(野々市町横宮町67-1)

”開腹手術をゼロにする事が目標

全ての消化管ガンを内視鏡で切除することに注力”

野々市町にあるスポーツクラブ「ヴィテンのいち」1階に、今回ご紹介する「森 明弘クリニック」があります。明るく開放的な印象のクリニックをお訪ねすると、院長の森先生がとても気さくに迎えてくださり、開口一番「金沢脳神経外科病院は頭から腰、末梢神経に至るまで正確に診断されるので、患者様にとつては大変有難い病院です。」とのお言葉をいただきました。先生は患者様の開腹手術をゼロにすることをライフワークとされています。お腹を切らず内視鏡で治療できるように、消化器ガンの早期発見に力を注ぎ、連日内視鏡検査を行っておられます。特視鏡を使って切り取る「粘膜切除術」により、胃や大腸を元どおりに治してしまえるとのことです。先生はその粘膜切除術のビデオ画像を見ながら、熱くお話をされました。またこれま

で行われてきたバリウムを飲んで調べる胃透視検査では、1cm以下の早期ガンは発見しにくいとの経験から、先生のクリニックではデジタル高画質の電子内視鏡で検査されています。消化器ガンに対するポリシーを貫かれる先生の姿勢から、信頼と安心を感じとれました。

【先生の経歴】

昭和47年名古屋市立大学医学部卒業／金沢大学医学部第一外科入局／富山医科大学第一外科助手／能登総合病院外科部長／南ヶ丘病院副院長を経て平成17年7月開

日本消化器内視鏡学会認定専門医
日本外科学会認定医

【登録認定医等】

日本消化器内視鏡学会認定専門医
日本外科学会認定医

「医療は医師にお任せ、医療機関の情報はブラックボックス（何もわからない）」という時代は終わり、患者様自身が自分の病名や治療方法について医師から十分な説明を受け、納得のうえで治療を受け、時にはセカンド・オピニオン（主治医以外の他の医師の意見を聴くこと）を受けることが当たり前の時代になりました。

また、医療機関が発信できる情報は広告規制によつてまだ若干の制約を受けていますが、そう遠くない時期に誇大広告や患者様に誤解等を与える範囲での広告が緩和されるものと思われます。

このようなかで、当院が発信する情報は、「患者様が当院を選ぶ際の重要な情報源であり、患者様に当院をよりよく知つてもらうためのもの」であります。これらも、当院がホームページ、電子掲示板、広報誌等で発信する情報は、患者様の視点に立つて、見やすく、分かりやすい情報となるよう努力したいと考えています。

一度是非、ホームページをご覧になつていた

ホームページなどによる当院の情報開示について

— 患者様の視点に立つた情報発信 —

事務長 谷 寛憲



患者さんコーナー

吉村龍造様（福井県鯖江市在住）

入院生活を終えて

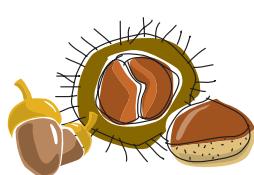


私は3年ほど前から両上肢

内側の痛みが続き、昨年地元の病院で手術を受けたのですが、術後なかなか回復せず、1年が過ぎましても痛みが増すばかりでした。それで、他の病院で金沢脳神経外科病院を紹介され、診察していただいた結果「頸部脊柱管狭窄症」と診断され手術を受けました。

手術は首後方を切開し、セラミックを用いて脊柱管を拡大する「拡大椎弓形成術」という手術を行つていただきました。術後1日間は首の手術のため身動きが出来ませんでしたが、徐々に回復し手術後2週間という速さで退院する事が出来ました。

術後3週間経つた現在は、おかげさまで腕の痛みも少しづつやわらぎ、毎晩熟睡する事ができるようになりました。佐藤院長はじめ、山本副院長、看護師の皆様方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



ふれあい健康相談

10月25日に、白山市のアピタ松任で「ふれあい健康相談」を開催しました。

これは当院の患者満足向上委員会が企画し、医師、薬剤師、看護師をはじめ、委員会メンバー15名が対応にあたり、血圧、体脂肪、骨密度の測定などを行いました。

受付を兼ねたアンケート用紙に記入していただき、その中で日頃から気になっていることをお聞き



して、それぞれの専門とするスタッフがアドバイスしました。平日の開店時間から午後3時までの時間帯でしたが、150名の方々に参加していただきました。

年に1回開催のこの企画も今回で7回目となりました。地域の皆様とのふれあいを大切にするため、これからも継続していきたいと思います。

ロールプレイングを用いた接遇研修

患者満足向上委員会では、9月6日にロールプレイングを用いての接遇研修会を行いました。

名づつのグループに分けた参加者が討議し、発表しました。

参加者全員が、接遇について自ら考え、そして意見交換を行うことができました。

接遇に対して深く考える時間を共有することことができたと感じました。

ロールプレイングを辞書で調べてみると、「実際の場面を想定し、さまざまな役割を演じさせて、問題の解決法を会得させる学習法。社員訓練や外国语会話の修得に応用されている。役割実演法」とあります。

研修会では、電話の応対と病棟業務のよくある風景の2シーンをスタッフが演じ、それを見て感じたことを、数

